



世界トップクラスを目指す国際フォワード

2023年2月期 第2四半期 決算補足資料

2022年10月12日

株式会社エーアイテイナー

東証プライム
【証券コード 9381】

目 次



● 業績概要（2023年2月期 第2四半期決算概要）

・ 2023年2月期 第2四半期連結決算（業績）概要-1～3	頁
業績ハイライト	4
事業項目別比較－営業収益・売上総利益	5
販売費及び一般管理費 増減詳細	6
・ セグメントの概要	7
・ 2023年2月期 第2四半期連結業績予想比較	8
・ 海上輸送コンテナ本数・通関受注件数推移	9

● 業績見通し（2023年2月期 通期見通し）

・ 2023年2月期 通期見通し	
連結業績	11
経営指標	12

業 績 概 要
(2023年2月期 第2四半期決算概要)



2023年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要－1



■ 業績ハイライト ～ 前年同期比較 ～

(単位:百万円)

	2022年2月期 第2四半期累計期間		2023年2月期 第2四半期累計期間		前年同期比増減	
	金 額	営業収益 比率	金 額	営業収益 比率	金 額	前年同期比
営業収益	26,971	100.0%	35,744	100.0%	+8,773	+32.5%
売上総利益	4,501	16.7%	5,761	16.1%	+1,259	+28.0%
(販売費及び 一般管理費)	(2,967)	(11.0%)	(3,006)	(8.4%)	(+38)	(+1.3%)
営業利益	1,533	5.7%	2,754	7.7%	+1,221	+79.6%
経常利益	1,673	6.2%	2,805	7.8%	+1,132	+67.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	974	3.6%	1,873	5.2%	+899	+92.3%

- 上海でのロックダウンによる厳しい環境下ではあったが、中国現法と密に連携し、安定的に国際貨物の輸送が行えるよう尽力した。さらに、この状況を収益拡大のさらなるチャンスと捉え、新規顧客の獲得と既存顧客の取引深耕に取り組み、一貫輸送の更なる受注獲得を目指して精力的に営業活動を展開。
- 海上輸送コンテナの取扱本数、通関の受注件数は減少したが、海上輸送における運賃水準が高いことに加え、円安進行が収益拡大の追い風となり、物量等の減少による収益の低下要因を十分に補うこととなった。
- DXへの取組みにも継続して注力する等して業務の効率化を推進し、可能な限りの販売費及び一般管理費の抑制にも努めた。
- 営業収益、売上総利益の拡大と販管費の抑制効果により、営業利益以下の段階利益も大きく増加、営業利益率の改善にも繋がった。



2023年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-2



■ 事業項目別比較一営業収益・売上総利益【前年同期比較】

(単位:百万円)

【営業収益】		2022年2月 第2四半期累計期間		2023年2月期 第2四半期累計期間		増減額	増減 内訳額	増減内訳
		金額	構成比	金額	構成比			
単 体	海上輸送	12,157	45.1%	18,878	52.8%	+6,721	+1,126 +6,301 △706	為替の影響(1USD 110.54円⇒130.86円) 販売価格の上昇 貨物量の減少(単体:△6,696TEU)
	航空輸送	327	1.2%	419	1.2%	+91	+54 +71 △33	為替の影響 販売価格の上昇 貨物量の減少
	通 関	2,423	9.0%	2,431	6.8%	+8	+8	単体での受注件数は減少(△2,278件)も 配送費等の単価は上昇
	そ の 他	578	2.1%	790	2.2%	+211	+211	三国間輸送、3PLなどの収益増加
	子 会 社 (注)	11,484	42.6%	13,224	37.0%	+1,740	+1,645 +95	日新運輸及び同社子会社分 上記以外の子会社分
	合 計	26,971	100.0%	35,744	100.0%	+8,773		

(単位:百万円)

【売上総利益】		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減 内訳額	増減内訳
単 体	海上輸送	1,719	33.1%	2,693	41.8%	+974	+159 +6,301 △5,386 △100	為替の影響 販売価格の上昇要因 仕入価格の上昇要因 貨物量の減少
	航空輸送	63	1.2%	80	1.3%	+16	+10 +71 △58 △6	為替の影響 販売価格の上昇要因 仕入価格の上昇要因 貨物量の減少
	通 関	719	13.8%	701	10.9%	△18	△18	配送費等の原価上昇
	そ の 他	45	0.9%	64	1.0%	+18	+18	三国間輸送、3PLなどの利益増加
	子 会 社 (注)	2,653	51.0%	2,906	45.0%	+253	+166 +87	日新運輸及び同社子会社分 上記以外の子会社分
	小 計	5,200	100.0%	6,446	100.0%	+1,246		
	販売管理費⇒原価へ振替	△699		△685		+13		
	合 計	4,501		5,761		+1,259		

(注) 子会社にてセグメント情報における日本の「セグメント間の内部営業収益又は振替高」を減算しております。



2023年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要－3



■ 販売費及び一般管理費 増減詳細 (前年同期比較)

(単位:百万円)

	2022年2月期 第2四半期累計期間		2023年2月期 第2四半期累計期間		増減額
	金 額	営業収益比率	金 額	営業収益比率	
営 業 収 益	26,971	100.0%	35,744	100.0%	前年同期比 0.6pt低下 +8,773
売 上 総 利 益	4,501	16.7%	5,761	16.1%	+1,259
販売費及び一般管理費 合計	2,967	11.0%	3,006	8.4%	前年同期比 2.6pt低下 +38
(内 人件費)	1,970	7.3%	2,055	5.7%	+84
(内 販売費)	149	0.6%	133	0.4%	△16
(内 固定費)	847	3.1%	817	2.3%	前年同期比 2.0pt上昇 △29
営 業 利 益	1,533	5.7%	2,754	7.7%	+1,221

- 日本国内での給与や賞与の増加により人件費は上昇したが、事業活動に掛かる費用の圧縮にも取り組み、販売費及び一般管理費は前年同期と比較し、38百万円増(1.3%増)に留まった。
- 売上総利益率は低下したものの、それ以上に販売費及び一般管理費の比率が低下し、営業利益率の改善に繋がった。

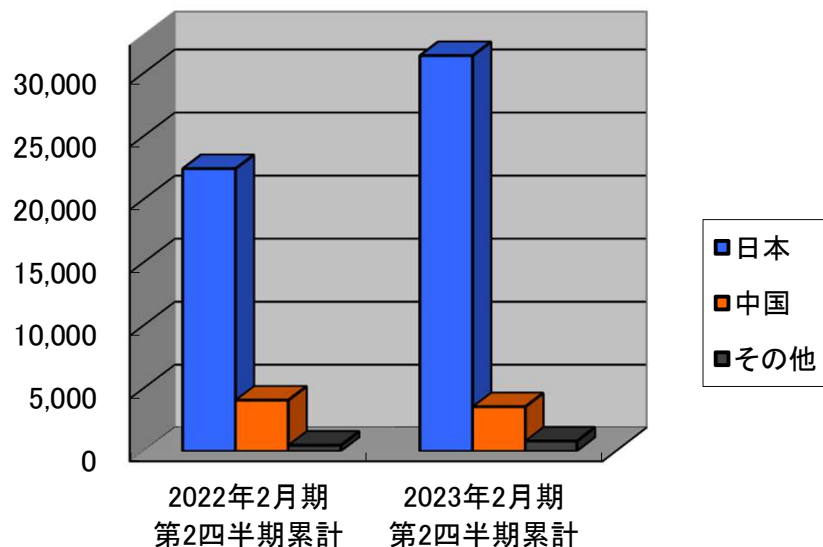


セグメントの概要



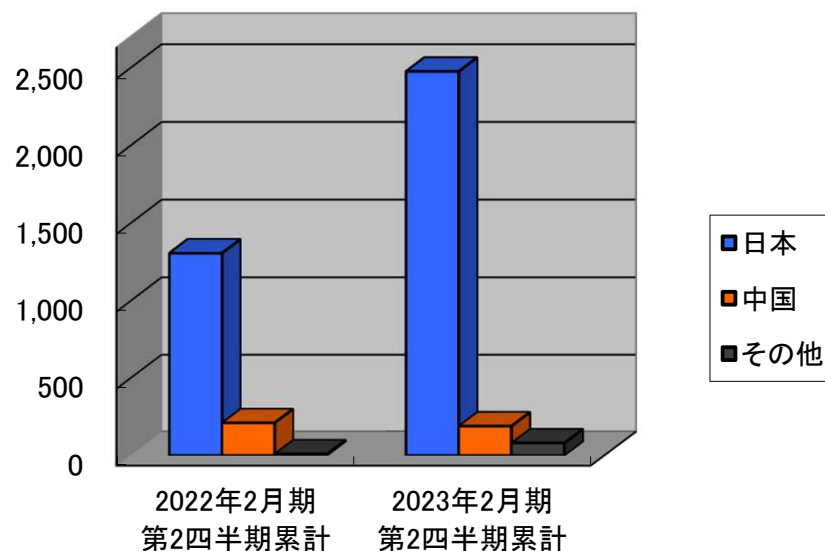
(営業収益)

(単位:百万円)



(営業利益)

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	2022年2月期 第2四半期累計	2023年2月期 第2四半期累計	増減
(注1)	金額	金額	金額
日本	22,435	31,393	+8,958
中国 (注2)	4,061	3,541	△520
その他 (注3)	474	809	+335
合計	26,971	35,744	+8,773

(単位:百万円)

	2022年2月期 第2四半期累計	2023年2月期 第2四半期累計	増減
(注1)	金額	金額	金額
日本	1,310	2,480	+1,170
中国 (注2)	212	191	△20
その他 (注3)	10	81	+71
合計	1,533	2,754	+1,221

(注)1. 「日本」、「中国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人となります。

3. 「その他」の区分は、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人となります。



2023年2月期 第2四半期連結業績予想比較



■ 営業収益(売上高)及び損益関係 ～ 予想比較 ～

(単位:百万円)

	2023年2月期 第2四半期累計				予想比 増減	
	予想値 (2022年7月12日公表値)		実 績			
	金 額	営業収益比率	金 額	営業収益比率	金 額	予想比
営業収益	33,500	100.0%	35,744	100.0%	+2,244	+6.7%
売上総利益	5,460	16.3%	5,761	16.1%	+301	+5.5%
(販売費及び一般管理費)	(3,110)	(9.3%)	(3,006)	(8.4%)	(△103)	(△3.3%)
営業利益	2,350	7.0%	2,754	7.7%	+404	+17.2%
経常利益	2,310	6.9%	2,805	7.8%	+495	+21.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,610	4.8%	1,873	5.2%	+263	+16.4%

【主な増加・減少要因】

営業収益

想定よりも+2,244百万円となった要因：

〈以下①～⑤は単体ベース〉

- ①輸送貨物量の増加 **+432百万円**
【海上+540百万円、航空△108百万円】
【海上貨物予想 105,700TEU → 108,677TEU 約+3,000TEU】
- ②通関関連 **△63百万円**
【通関件数予想 35,400件 → 34,693件 約△700件】
- ③為替要因 **+44百万円**
- ④価格要因【販売価格】 **+1,170百万円**
【海上+1,168百万円、航空+2百万円】
- ⑤その他要因(三国間・3PL等) **+137百万円**
- ⑥子会社要因で **+524百万円**

合計+2,244百万円

売上総利益

想定よりも+301百万円となった要因：

〈以下①～⑥は単体ベース〉

- ①輸送貨物量の増加 **+54百万円**
【海上輸送+74百万円、航空△20百万円】
- ②通関関連 **+1百万円**
- ③為替要因 **+6百万円**
- ④価格要因【販売価格と仕入価格の関係】
+164百万円【海上+163百万円、航空+1百万円】
- ⑤その他 **+37百万円**
- ⑥国際貨物輸送、通関業務及び配送に係る部門費 **+13百万円**
- ⑦子会社要因 **+25百万円**

合計+301百万円

販売費及び一般管理費

期初想定よりも、△103百万円になった主な要因：

人件費 **△62百万円**、販売費 **△5百万円**、固定費 **△36百万円**



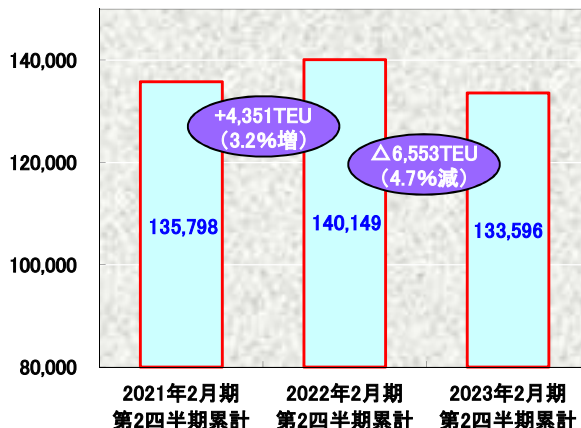
海上輸送コンテナ本数・通関受注件数推移



取扱海上輸送コンテナ本数推移

(TEU)

(単位:本数=TEU)



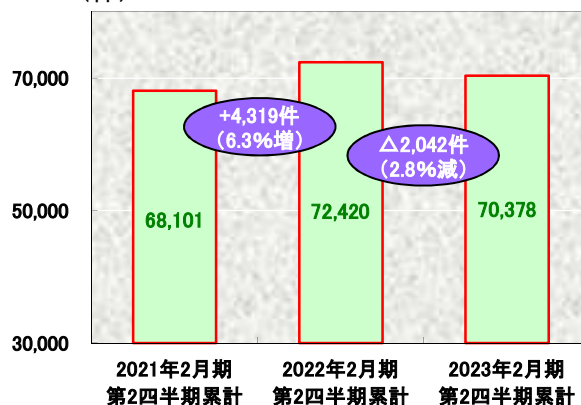
	2021年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸と同社子会社分 ^(注))			2022年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸)			2023年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸)		
	本数	増減数	増減比	本数	増減数	増減比	本数	増減数	増減比
輸入	129,385	+1,297	+1.0%	133,385	+4,000	+3.1%	125,317	△8,068	△6.0%
輸出	6,413	△2,140	△25.0%	6,764	+351	+5.5%	8,279	+1,515	+22.4%
合計	135,798	△843	△0.6%	140,149	+4,351	+3.2%	133,596	△6,553	△4.7%

(注) 2020年4月1日付にて、日新運輸株式会社を存続会社とし、同社の子会社であるニッシン・トランスコンソリデーター株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っております。

通関受注件数推移

(件)

(単位:件)



	2021年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸)			2022年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸)			2023年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸)		
	件数	増減数	増減比	件数	増減数	増減比	件数	増減数	増減比
輸入	57,359	△4,814	△7.7%	59,728	+2,369	+4.1%	57,671	△2,057	△3.4%
輸出	10,742	△2,577	△19.3%	12,692	+1,950	+18.2%	12,707	+15	+0.1%
合計	68,101	△7,391	△9.8%	72,420	+4,319	+6.3%	70,378	△2,042	△2.8%

業 績 見 通 し
(2023年2月期 通期見通し)



2023年2月期 通期見通し一業績



■ 連結業績

(単位:百万円)

		2022年2月期 (実績)	営業収益比	2023年2月期 (実績・予想)	営業収益比	増減金額	前年同期比
上期	営業収益	26,971	100.0%	35,744	100.0%	+8,773	+32.5%
	営業利益	1,533	5.7%	2,754	7.7%	+1,221	+79.6%
	経常利益	1,673	6.2%	2,805	7.8%	+1,132	+67.7%
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	974	3.6%	1,873	5.2%	+899	+92.3%
通期	営業収益	59,931	100.0%	69,300	100.0%	+9,368	+15.6%
	営業利益	3,581	6.0%	4,930	7.1%	+1,348	+37.7%
	経常利益	3,821	6.4%	4,980	7.2%	+1,158	+30.3%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	2,367	3.9%	3,430	4.9%	+1,062	+44.9%

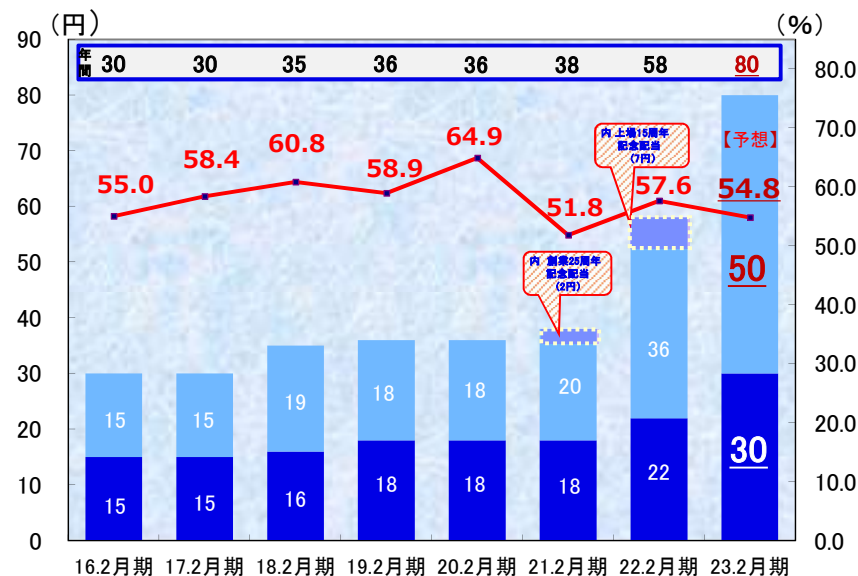
(注) 通期の業績予想値は、2022年7月12日付「業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」にて公表しております値となります。



2023年2月期 通期見通し—経営指標



■ 1株当たり年間配当金、及び連結ベース配当性向 (注)



■ 中間配当(左目盛) ■ 期末配当(左目盛) ■ 連結ベース配当性向(右目盛)

■ 連結ベース 1株当たり当期純利益 (注)



- (注) 1. 当社は2019年3月1日付の日新運輸株式会社との株式交換に伴い、交付する4,800,000株の内、4,159,200株は新株発行を行い、残り640,800株は自己株式を充当しております。
2. 当社は、2019年11月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式220,000株の取得を行いました。
3. 当社は、2020年7月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式199,800株の取得を行いました。

【2023年2月期】

- 中間配当..... 1株当たり**30円**で実施。(前期実績:22円)
- 期末配当予想... 1株当たり**50円**の予想。(前期実績:36円(内 普通配当29円、記念配当7円))



【年間配当予想】 1株当たり**80円** (前期比+22円)



【お問合せ先】 経理財務部 財務課
TEL: 06-6260-3486 FAX: 06-6260-3460

――本資料取扱い上の注意――

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確実性の要素を含んでおります。従いまして、通常予測し得ないような特別事情の発生や通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

よって投資家の皆様につきましては、本資料の将来見通しのみに依拠することなく、投資に関するご決定は皆様自身のご判断で行っていただきますようお願いいたします。

なお、本資料で使用するデータ及び表現の欠落・誤謬等に関しましてもその責を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。